

研究名：滋賀県における分娩施設集約化の母児アウトカム、コスト、アクセスへの影響とステークホルダー分析：Scenario-based economic evaluation

1. 研究の目的

本研究は、滋賀県における分娩施設の集約化が、お母さんと赤ちゃんの臨床的な転帰、医療費、およびアクセスの公平性に与える影響を、シミュレーションモデルを用いた医療経済分析により明らかにすることを目的としています。少子化や産婦人科医師不足により分娩施設の集約化が進む中、その影響を科学的に評価し、今後の周産期医療政策の立案に役立てることを目指しています。

2. 研究の方法

- ① 研究対象：当院にて 2023 年 1 月～2024 年 12 月までに分娩された方
- ② 研究期間：研究機関の長の実施許可日～2028 年 3 月 31 日
- ③ 利用又は提供を開始する予定日：2026 年 9 月 1 日
- ④ 研究方法：当院の診療記録（DPC データ）を既存データとして利用し、統計解析を行います。新たな診察や採血等は一切行いません。電子データは匿名化した上で記録媒体にて国立成育医療研究センターに提供されます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、入退院日、手術名称、分娩時の出血量、診断名 等

4. 個人情報の取り扱い

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの情報は、受けた医療などの情報が含まれますが、氏名などの個人情報は含まれません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの情報は、個人情報をすべて削除し、どなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 患者さんの個人情報の削除は当院にて実施し、研究機関（国立成育医療研究センター）には送られません。また研究計画書に記載された所定の時点で破棄します。

5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター 研究責任者 山本 依志子

滋賀医科大学医学部産科学婦人科学講座 研究分担者 谷口 健太郎

研究協力機関

滋賀医科大学医学部附属病院 研究責任者 辻 俊一郎

長浜赤十字病院 研究責任者 中島 正敬

大津赤十字病院 研究責任者 藤田 浩平

近江八幡市立総合医療センター 研究責任者 小野 哲男

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、申出いただいた時点で研究結果が論文などで公表されていた場合等は、データが削除できないことがあります。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〇〇病院 〇〇科 〇〇〇〇（担当者氏名）

住所：〒〇〇-〇〇 〇〇〇〇〇〇

電話：〇〇-〇〇-〇〇（内線：〇〇〇〇）

国立成育医療研究センター 政策科学研究部 山本 依志子

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：4272）